

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	荒川区立心身障害者福祉センター		
○保護者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	156名	(回答者数) 78名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センター化に伴い、一般的な児童発達支援事業所と比べて、複数の専門職が連携しながら支援を行うことができている。 単なる個別支援にとどまらず、「相談・連携・育成」まで含めた広い機能を持っています。	児童発達支援センターの機能を活用し、情報の収集や会議の開催等を行っている。	地域のニーズの把握や支援の質の向上に努めていく。
2	「家族支援」が充実している。	保護者面談[フィードバック]、相談、発達講演会など、定期的に行っている。 毎月発行の「たんぼ通信」では、各種専門職からの情報を分かりやすく配信している。	「臨時号」や、パネル展示を検討している。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童数が年々増加しており、需要拡大に対して支援体制が追いついておらず、人材不足に陥っている。	今の療育に真摯に向き合い療育している現状で、まだまだ地域支援に目を向けられていない。	役割分担の明確化、記録の取り方の工夫、情報共有フォーマットの統一等を行う。
2			
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 荒川区立心身障害者福祉センター

公表日 令和8年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	ゆとりをもった適切なスペースです。活動内容の工夫、用具・玩具の配置に配慮しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0	適切な職員配置となっています。今後もお子さんの状況に応じ支援体制をとるよう連携を図っていきます。グループやお子さんの様子によって、職員を増員し、タイミングに合わせた療育をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	活動によっては備立等で仕切りなど工夫しています。絵カードや写真を使うなど、視覚的にわかりやすくしています。今後も動線や仕切りなど工夫しながら支援してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	毎日の清掃と定期清掃を行っています。感染症予防のため換気やクラス終了の都度、消毒を行っています。心地よく過ごせるよう環境設定をしてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	療育室3、療育相談室など
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	0	年度当初に目標を設定し、中間と年度末に自己評価を行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	毎年、保護者向け事業所評価を実施し、意向を踏まえ業務改善につなげています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	関係者会議や職員会議を行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	0	令和6年度に第三者評価を実施いたしました。令和7年4月に福祉サービスにて、第三者評価の結果が公表いたしました。今後の業務改善に繋げてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	外部講師による講習や特別区の研修などに参加し、学んだことは会議等で報告、共有しています。今後も専門研修への参加機会を設け、質の向上に努めてまいります。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	・保護者に面談時、支援プログラムの説明を行っています。 ・日々のフィードバックなど行っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	お子さんの状況や保護者のニーズ、専門職の発達評価等を踏まえ、連携を図りながら個別支援計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	各専門職の視点で多角的にお子さんの発達を捉え、成長発達を促していけるよう職員間で検討を重ねています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	面談を実施し、個別支援計画に沿った支援を定期的に確認しながら行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	統一したアセスメントツールを使用して個別支援計画を作成しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	児童発達支援ガイドラインに基づき、個別支援計画を設定一人ひとりにあわせた支援内容を設定しています。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	毎回の支援後に活動内容を見直し立案しています。大きな変化に戸惑うお子さんもいるので、小さなアレンジを加えるなどお子さんの状況に応じて臨機応変に工夫、検討をしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	小集団活動の中、必要に応じて個別活動も組み合わせる等して支援計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	毎回支援開始前にプログラム内容や役割の確認、準備を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	開始前、終了後に打ち合わせや振り返りを行い、その日の支援内容や保護者の意見を共有し次回に生かしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	記録のポイントを整理した様式を使用し、支援の検証・改善に努めています。個別課題について目で分かるよう様式を検討し、よりよい支援につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて個別支援計画の修正を行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	子どもの状況に精通した職員が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	家族支援を視野に入れながら、必要に応じて関係機関と連携し支援を行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	必要に応じて園訪問や電話などで情報共有し、連携して支援を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	スムーズに移行できるよう、就学相談の資料、支援シートを作成したり、就学相談会に参加することで情報の共有を図って支援しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	0	他機関による巡回相談を行い助言を受けたり、必要に応じて医療機関や療育センター等と連携し、支援に繋げています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	4	0	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0	子ども家庭部の会議や自立支援協議会に参加しています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	9	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	面談や、支援終了後にフィードバックを行い、共通理解を図っています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	年に数回の家族支援講座を開催したり、ペアレントトレーニングを職員が行えるよう研修や実践を通してスキルを習得しています。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	契約時に説明を行っています。丁寧な説明に努めています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	児童発達支援ガイドラインの説明とそれに基づき作成した個別支援計画書を提示しながら説明し、同意を得ています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	終了後のフィードバックの際に相談に応じ、面談等設定し必要な助言と支援を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	2	親子療育の中で、保護者を主体とした懇談を行っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	1	保護者からの相談や申し入れには迅速かつ適切に対応しています。また、必要がある時は時間を設けるように努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	毎月発行のたんぽぽ通信や必要に応じてお知らせを配布したり、掲示を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	個人情報取り扱いやセキュリティに関する研修を毎年受講し、意識を高め取り扱いには十分注意をしています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	聴覚障害のある保護者とは筆談や手話言語通訳タブレットを、外国籍の方には多言語タブレットを使用するなど工夫してコミュニケーションを図っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	0	区民に講演会、講座などの案内を周知しています。今年度もコロナウイルス感染予防のため施設公開の開催は見合わせ、区役所で施設紹介のパネル展を開催しセンターへの理解を図っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	マニュアルを作成し、職員に周知しています。保護者へは重要事項説明の際、説明を行っています。荒川警察署指導の下、防犯訓練を実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	毎月避難訓練を行っています。毎月年2回、同じ建物内の他課との合同訓練を行い、災害に備えています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	契約時に看護師も含め確認、情報共有し、必要に応じて医師の指示書をいただくなどしています。聞き取った情報は記録しファイリングしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	契約時に確認しています。おやつについてはアレルギーのあるお子さんも食べられるものを提供しています。アレルギーに除去のお子様は保護者さまには、毎月おやつ原材料等、ファイルを確認していただいています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	「安全計画」をもとに、月に1度の避難訓練、年に1度の防犯訓練を実施しています。また、日々の施設点検「チェックシート」を行っています。職員は全員上級救命講習を受講しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	入所時の契約時に個々に説明しています。また、「たんぽぽ通信」にて情報の提供をしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	事例があれば随時共有し、事例集を作成しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	区等で実施する研修へ代表者が参加し職員に周知したり、年1回は所内で研修の機会を設け適切に対応しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0	危険を伴う場合を除き、身体拘束は行わないこととしています。	

<保護者等向け> 児童発達支援評価表 (提出78世帯 回収率50%) 公表日:令和8年3月31日

No.1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	取組状況
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等スペースが十分に確保されているか	75	2	0	1	・クラス以外に体をたくさん動かせるホールと遊具があるのが良い ・教室、ホールも広く、活動に問題ないスペースが確保されている。 ・時に、大型トランポリンが設置された運動室が素晴らしいです。	・基準に準じたスペースになっています。 ・活動の内容を工夫したり安全に集中して取り組める環境、用具や玩具の配置に配慮していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	74	1	0	3	・人数も豊富で、専門的。知識と経験があると感じました。 ・子供の様子を細かくとこまで見て下さっています。	・基準に準じた職員配置となっています。今後もお子さんの状況に応じた支援体制をとるよう、職員間の連携を図り、向上に努めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	73	3	0	2	・子どもの成長を感じます。いつも有難うございます。 ・適宜めくくしされていたりする	・お子さんの状況に合わせた環境設定を行っています。 ・改修工事の関係もあり、ご不便をおかけしております。駐輪場は混雑が見込まれる時は臨時の駐輪スペースを設ける等配慮してまいります。駐輪場は今後も確保できるように努めて参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	73	4	0	0	・いつでもきれいに保たれています。 ・ホコリっぽい所がある(たまに) ・施設は相応の年季がありますが清潔に保たれています。 ・疲れると床に横になることが多いので、清掃がされているかはとても良く見て見ますが、きれいに清掃されていると思います。	・空調温度設定など、こまめに調整しながら快適な支援環境になるよう努めて参ります。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画ⅱが作成されているか	74	1	1	2	・項目ごとに細かく計画されていると思う。 ・面談で色々アヒリングしてくれて、発達の様子を見ながら作成されていると思います。	・今後もお子さんの発達の様子を確認しながら、ニーズを踏まえた個別支援計画を作成に努めていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援(本人支援及び支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	72	3	0	3	・子供の状況を良く見て、それに合わせた計画で進められるようにして下さっています。 ・話を聞いてくださったり子供の様子を見てくださったりし、具体的に適切な支援計画、内容が設定されていると思います。	・個別支援計画について面談時、詳細に説明いたします。お子さん、保護者さまに寄り添った支援を提供できるよう研修等スキル向上を図ってまいります。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	77	0	0	1	・適切な支援を行って下さり、日々子どもの成長を感じています。 ・一方で、グループでの訓練なので、個人の課題に取り組むには限界も感じます。 ・適切な支援を行って下さり、日々子どもの成長を感じています。	・「児童発達支援ガイドライン」を基に作成した支援計画に沿って支援を行うとともに、より丁寧な説明に努めてまいります。個々の段階に合わせた支援内容の工夫に努めて参ります。
	⑧	活動プログラムⅱが固定化されていないよう工夫されているか	68	2	0	8	・毎日違ったプログラムを行って下さり、程よいと思います。 ・プログラムに記載されている作業や運動がどのように発達を促していることにつながるのか説明してほしい。 ・個々に合わせた対応をしていると感じます。色々な経験ができています。	・個々のや個別支援計画のねらいに応じ、発達段階を踏まえたスモールステップでの活動プログラムにしています。
保護者 への 説明等	⑨	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	74	1	1	2		・契約時、今後も丁寧な説明を行うよう努めていきます。
	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	75	1	0	2	・個別に面談にてご説明して下さいました。	・支援利用開始前に「児童発達支援ガイドライン」について丁寧な説明に努めるとともに、定期的に個別支援計画についても説明を行います。
	⑪	保護者に対して家族支援(講座やペアレント・トレーニング等)が行われているか	54	9	0	14	・フィードバック時にもっと悩みを相談する時間がほしい ・自分あまり参加できませんが、保護者に対するプログラムも沢山ご案内いただいています。 ・お手紙等でご案内いただいていると思います。参加は家庭の判断かと思うのですが、我が子に対してどの程度、必要なのかよくわからず、時間もないので見送ってしまいます。 ・その時間をもう少し増やしてほしいと感じます。	・家族支援講座、発達障がい講演会、グループ相談会、など開催しておりますが、回数・日程等検討していきます。 ・託児については現状難しいため、ご家庭で調整してのご参加をお願いしております。
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	73	4	0	1	・よく見て下さって、その場で課題やこうするといったアドバイスはいただけるのでリアルに理解することができています。 ・今回はどんなプログラムだったのか、子供がどんな様子だったのかなどいつも詳しくお話しして下さいます。 ・終了後に毎回丁寧に活動の内容や様子について教えて下さいます。 ・小さな事でもすぐに共有しています。信頼できる先生で、色々なアドバイスを頂いてとても助かってます。	・支援終了後、個別にフィードバックを行い、共通理解を図っています。日頃より、聞きたいことが詰る雰囲気づくりに努めていきます。 ・課題についても、具体的に説明できるよう心がけます。
	⑬	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	73	3	2	0	・ご多用の中、月に1回は面談して下さり、育児の相談へのアドバイス、療育での子どもの様子の説明をして下さり、非常にありがたいです。 ・月1回の面談は共働きの場合負担が大きい。 ・フィードバック時にもっと悩みを相談する時間がほしい ・仕事でなかなか伺えませんが、足を運ぶ度に面談をしていただけました。	・個別支援計画説明時、6か月に一度、面談を行っています。面談等ご希望を話しやすいよう心掛けていきます。

<保護者等向け> 児童発達支援評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	取組状況
	⑭	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	71	4	0	3	・いつも迅速かつ適切に対応してくださっています。ありがとうございます。 ・始まる前や終了時にも声かけいただいたり、必要に応じ時間の確保をいただいています。	・定期的な面談を行っています。保護者さまからの相談や申し入れには迅速に対応できるよう引き続き体制を整えてまいります。 ・初回相談、クラス案内をお待たせし、申し訳ございませんでした。少しでも早くご案内できるよう努めて参ります。
	⑮	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	73	4	0	1	・移動支援利用のため、連絡帳を使つてのやり取りでしたが、きちんとできたと思います。 ・毎回、療育後にお話する時間を確保いただいています。	・移動支援を利用しているご家庭には月1回の面談日を設け、センターでの様子について共通理解がさらに深まりますように検討してまいります。
	⑯	お便りや掲示等で活動予定や業務に関する自己評価の結果をホームページ等で子どもや保護者に対して発信されているか	68	1	0	9	・毎月のたんぼぼ通信参考にしています。	・自己評価についてはホームページに掲載しております。必要に応じ書面にて伝えていくよう努めていきます。 ・毎月たんぼぼ通信を発行し、情報提供等今後も努めていきます。
	⑰	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	72	2	0	4		・個人情報は、細心の注意をもって取り扱ってまいります。必要な場合は説明と同意を得られるよう努めております。
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	52	4	2	19	・きつとされていると思うが子どもの通っている曜日や時間にやっていたかどうかはわかりません。 ・発生を想定した訓練実施の有無は把握していませんが、しっかり備えていると感じます。	・支援終了後には室内等の消毒は毎回実施しております。 ・マニュアルを作成し、月に1回定期的に避難訓練を行っています。 ・緊急時の対応について保護者の方への周知に努めていきます。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	55	4	1	18	・毎月避難訓練を実施していると伺っています。自分も一度参加しました。	・年間訓練計画を立て、職員が災害発生時に対応できるよう、月に1度、訓練を行い備えています。各曜日、午前クラス、午後クラス、全てのクラスが年に1回は訓練に参加できるよう設定をしております。
満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	71	7	0	0	・気持ちを言葉で表現はしませんが楽しく取り組んでいるので安心しています。 ・お給食がおいしいと言っています。できないことを教えてくれるところが楽しいそうです。 ・今まで1度も行くのをイヤがることはありませんでした！	・今後もお子さんが楽しく通えるよう、さらに支援内容の工夫に努めていきます。 ・給食も安全に留意し提供していきます。
	㉑	事業所の支援に満足しているか	70	7	1	0	・とても満足しています。保育園とは違う大人、先生、子供たちとの交流、やりとりができました。数の概念ができました。小学校に向けて大きな一歩でした！ ・活動で覚えたことを家に帰っても一緒にしよう、と声をかけてくれるようになりとても満足しています。 ・子どものできることが一つずつ増えており大変満足しています。 ・未就学児のみのサービスのため、就学後どのようにしたらいいのか分からず不安。そこを強化して情報を提供してほしい。 ・事業所内での療育のみだけでなく、家庭での子どもとの関わり方についても適切なアドバイスを頂いており、大変満足しています。	・保護者対応等のご意見を真摯に受け止め、児童発達支援センターとして、寄り添う療育を更に心掛けてまいります。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのか示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
  - ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画の事です。これは、児童発達支援センター又は児童発達 iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動の事です。
- 子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。